

かたの瓦版

この時、交野は動いた

=元号でたどる交野⑨=

明治 (1868-1912年) 明治天皇

◇「明治のもととなった一文の「聖人南面而聴天下、

禱明而治」せいじんなむめん てんか き めい むか聖人南面して天下を聴き、明に禱

おさひて治む・・・「聖人が北極星のように顔を南に向けてとどまることを知れば、天下は明るい方向に向かって治まる」という意味である。

改元と同時に、「一世一元の詔」も出され、今後、天皇在位中は改元がおこなわれないことも定められた。

・旧幕府軍⇒鳥羽・伏見で萩・鹿児島藩に敗れ⇒戊辰戦争おこる。

・「五箇条の御誓文」を公布。

・江戸を東京と改める。

・天皇誕生日を天長節とし国家の祝日とする。

★正月鳥羽伏見の戦い、幕軍の落武者村に来る。

・大雨あり天野川堤郡津の西で決潰、当時砂入田の砂を集め現在の砂丘を成す

・鳥羽伏見戦星田村から領主へいくさ見舞を送る(西井長栄衛門談)

◇明治二年(1869年)「戊辰戦争」が終わる。

★正月交野地方村々(星田を除く)河内県所管となる(星田はまだ市橋家領)

・八月この村々堺県管下となる(星田は前の如し)

・七月星田1300石は西大路県下となり11月堺県下支配に入る

・村々役場に村民の新戸籍できる。このとき家々に姓をつける

◇明治五(1872年)日本初の鉄道(新橋—横浜)が開通

・神仏分離令により獅子窟寺境内の墓付近にあった秋葉明神を私市若宮神社境内に移す(松井武夫家所蔵記録)



若宮神社



秋葉さん

・星田新宮山八幡宮を星田神社境内に移し愛染院を廃す(『星田神社記』)

・村々にあった昔からの庄屋、年寄制を廃し戸長制となる。

・地租改正にともなう土地所有権につき、私部傍示両村間に争いおこる

◇明治六(1873年)日本に西暦が導入された。

★明治六(1873年)地租改正条例公布され国税として「地租」課税

・星田慈光寺出身僧哲空は全国浄土宗管長となり知恩院に入る(福井忍隆著『大教正哲空賢師について』)

・交野地方村々からはじめて大阪鎮台兵を徴す

・この年夏暴風雨の出水で村々の堤切れる(天の川の西)

◇明治七(1874年)大阪・神戸間に鉄道が開通する。

・この頃地租改正のため、村々の土地実測おこなわれ、土地所有者には地券交付される

★明治八(1875年)神宮寺の氏神を機物神社に合祀す(機物社記録)

★明治九(1876年)このころ全村民に種痘はじめる

・3月星田郵便取扱所創設

◇明治十(1877年)西南戦争(士族の反乱)が起こる。

★明治十(1877年)西南の役に当地方から大阪鎮台兵として出征する人があった

★明治十一(1878年)7月郡町村編成法施行される
・地租改正につき、この地方村々の測地および地券交付終わる

・地方税則制定され府県に「地租付課税」「戸数割」課税される

★明治十二(1879年)私部原田元次郎この地方の産繭(さんけん・まゆ)をあつめて生糸工場をはじめる。

★明治十三(1880年)4月従来の大小区制を廃す。
枚方郡役所部内に5つの連合戸長役場設けられ交野南部16ヶ村第四連合となる。

・この頃自由民権運動さかんとなり、壮士村々入りこんで演説する

★明治十四(1881年)大阪府管下となり各村々戸長制となる

・5月星田郵便局貯金事務をはじめる

◇明治十五(1882年)日本銀行が開業する。

★明治二十一(1888年)当地方の米質向上のため村々連合して交野改良米組合を設ける。

・市町村制施行により市町村に「地租付加税」を、家屋税を課されている府県には「家屋税付加税」が課税される。

◇明治二十二(1889年)大日本帝国憲法が公布される。

★明治二十二(1889年)市町村制公布され、交野村(私部、倉治、郡津)磐船村(傍示、寺、森、私市)星田村できる。

・府県税の施行により府県全部または市制施行地に、戸数割に代えて府県税として「家屋税」を課する市町村には従来どおり「家屋税付加税」が課される

★明治二十四(1891年)この頃神宮寺部落で砂糖作りはじまる。

★明治二十七(1894年)4月星田村大火慈光寺本堂その他全半焼8軒

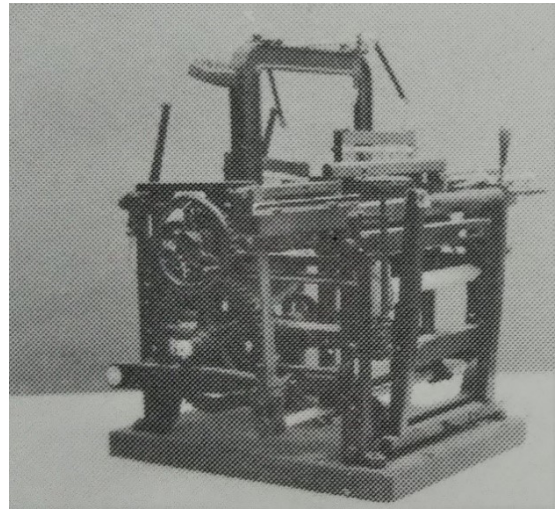
・大阪第八聯隊に属するこの地方在郷兵は7月以後天保山から出征する

・交野村に村農会できる

★明治二十九(1896年)4月茨田、交野、讃良三郡を合わせて北河内郡となり枚方が郡役所となる

★明治三十(1897年)■この頃からせんぼん松林の開拓がはじまり、桃林となる。

・私部原田元治郎力織機を発明。



原田式織機

★明治三十一(1898年)北河内郡に郡農会ができて、村々の農事を改良指導する。

・関西鉄道四條畷～長尾間開通し、星田駅できる。



星田駅

★明治三十六(1903年)各小学校は国定教科書を採用

★明治三十七(1904年)日露戦争のため4月以降この地方の在郷兵続々満州へおくられる。

・この頃自転車の普及はじまる。

◇明治四十(1907年)株価が暴落し、戦後恐慌が始まる。

・関西鉄道が国有鉄道に編入され、国鉄片町線となる。

★明治四十一(1908年)篠山歩兵第70聯隊新設され、この地方の兵の大部分は入営する。

・交野郵便局開設



・各村々に在郷軍人会発足する。

・星田妙見河原に桜400本植樹。

・倉治白旗池増堤工事成る



交野山山頂より

・交野村に交野青年会、星田村に星田青年会組織される

★明治四十四（1911年）3月星田、交野郵便局電話通信事務開始、9月より電信事務開始

◇明治四十五（1912年）7月30日、明治天皇が崩御（61才）、明治時代が終わる。



大阪毎日新聞（明治45年7月30日第三号外）

（参考資料）交野市史交野町略史復刻編より

元号でたどる日本史（PHP）

新聞紙面で見ると 100年の歩み

=了=